



職員紹介①

※内容は取材当時のものです。

子ども家庭部 保育幼児教育推進課
東保育園 主事

職種:保育士
令和6年度入職

とある1日のスケジュール



- 8:30 子どもの受け入れ
- 9:30 主活動
(園庭あそび・散歩・室内遊びなど)
- 11:15 昼食
- 12:30 午睡
- 13:00 昼休憩
- 14:00 日誌やノート等の事務作業
- 15:15 おやつ
- 17:00まで 自由遊び、子どもの受け渡し
- 17:00 当番へ引き継ぎ 明日の準備
- 17:15 退勤

Q1.現在の仕事内容

子どもの発達に寄り添い、遊びや生活を通して成長を支援する仕事です。保護者の方との信頼関係を基盤とし、安心して預けてもらえるよう常に意識しています。保育環境の安全管理や行事等の運営も職員間で連携を取りながら行っています。

Q2.職場の雰囲気

アットホームな雰囲気の中で日々子どもたちに癒され、元気をもらいながら楽しく保育をしている職場です。入職して3年目になりますが、優しい先輩方にいつもわからないことなどを教えていただいています。

Q3.国立市に就職を決めた理由

幼いころから保育園の先生になることが夢でした。公務員試験を受けていく中で私が通っていた大学と国立市が包括連携協定を結んでいることを知り、国立市の子育て支援などについて調べていく中で大学での学びを国立市の保育士として生かしていきたいと思い就職を決めました。

Q4.仕事のやりがい

子どもの発達に寄り添った保育を考えていく中で難しさを感じることもありますが、一人一人の成長を間近で感じる時や、保護者の方と会話をする中で信頼していただけているなど感じる時などに特にやりがいを感じます。

Q5.国立市の良いところ

大きな市ではありませんが、市職員はその分市民の方に寄り添うことができる点です。また自然や公園がたくさんあり、子どもたちとお散歩に行くたびに新しい発見がありとても楽しいです。お散歩に行く道中では市民の方が声をかけてくれることも多く、とても暖かく素敵なまちだなと思います。

Q6.受験者へのアドバイス

国立市で働きたいという気持ちと自分自身の強みや経験を国立市職員になってどのように活かしていきたいかを試験の中でアピールし伝えていくことが大切だと思います。

